



にほんまつ地球市民の会

NIHONMATSU GLOBAL CITIZENS' ASSOCIATION

にほんまつ地球市民の会とは

平成6年に国際協力事業団の二本松青年海外協力隊訓練所が、二本松市岳地区に開設されました。これを契機として、市民を挙げて訓練所をバックアップするとともに、国際理解・交流を深めることを目的として平成6年11月に設立されたのが、「にほんまつ地球市民の会」です。現在、個人会員は約270人、法人会員33団体を数えています。

にほんまつ地球市民の会

福島県二本松市金色403-1

二本松市役所総務部

企画財政課内

TEL 0243-55-5090

発行人

会長 三保 恵一

印刷

㈱松屋印刷所



春爛漫

さくらウォーク

in二本松

にほんまつ地球市民の会では、4月11日(日)に、恒例のJICA二本松青年海外協力隊訓練所との交流イベント「さくらウォーク」を実施しました。

JICAボランティア、訓練所スタッフ、地球市民の协会会员等の総勢210名は、駅前の市民交流センターをスタート、ゴールとして、観音丘陵遊歩道や霞ヶ城公園など約3時間にわたり市内の桜の名所を巡りました。

参加者の一行は、参加記念の黄色いタオルを首に巻いて歩き、コース途中の春の園遊会が開催されていた本久寺では、ステージのフラダンスに大勢飛び入り参加してみんなで楽しく踊り、桜だけではなく交流も楽しむことができました。

今回のウォーキング開催にあたっては、昨年に引き続き二本松市健康歩こう会会員の皆さんに誘導などのサポートをいただき、また、亀谷の露伴亭ではお団子やお茶の接待などあたたかいおもてなしをいただきました。そして、ゴールの市民交流センターでは、たくさん歩いてお腹がすいた参加者の皆さんに、地球市民の会から豚汁とおにぎりを提供しました。

短い時間での市内散策でしたが、市民の皆さんや訓練生同士の交流を深め、いい思い出となったようです。



さくらウォークの感想①

- ①名前
- ②派遣国
- ③職種

励ましていただいた一言

①安達智子 ②タンザニア ③理数科教師
曇り空で気温の低い中のさくらウォーク。どうなるかと思いましたが、曇り空を吹き飛ばす元気な「にほんまつ地球市民の会」のみなさんと7kmを一緒に歩くことができ、本当に楽しかったです。一緒に歩いたご夫婦の「前向きにね、色々悩むこともあるけれど頑張ってるね」と励ましていただいた一言が忘れられません。訓練期間、また任地での2年間を乗り越えられる大きなパワーをもらった気がします。心から感謝しています。ありがとうございます。是非これからも続けていただけることを心から願っております。

ウォークでうちとけた

- ①江口淳子
- ②ヨルダン
- ③幼児教育

さくらウォークへ参加して二本松には、色々な見どころがあることを知りました。7km位の距離のようでしたが、道中はここでしか見ることのできないような花などがあり、めずらしいものがたくさんだったので、あっという間だったように思います。また、「にほんまつ地球市民の会」の方から二本松の自然や歴史についてもお伺いすることができました。訓練所に入ってわずか5日目ですが、緊張した雰囲気だったので、このウォークで色々な人と交流もあり、うちとけることができました。ウォーク後のおにぎりや豚汁もとても美味しかったです。ありがとうございました。

さくらウォークの感想②

- ①名前 ②派遣国 ③職種

初めて見たしだけ桜

- ①長富麗佳 ②ヨルダン ③幼児教育

今回は私達の為に素敵なイベントを計画して下さりどうもありがとうございます。あんなにたくさん私達のことを温かく支えて下さる方がいて感動いたしました。にほんまつ地球市民の会の皆さんが笑顔で迎えて下さったお陰で安心して訓練に取り組み、そして派遣へ向けての意欲もますます高まっています。自分一人ではなくたくさんの方に助けられてこの活動ができるのだと感謝の気持ちでいっぱいです。任国で自分の経験を最大限発揮し、活躍することで皆さんへのお返しへと考えると考えています。これから応援よろしくお願いします。

私事ですが、しだけ桜を初めてみました。とてもきれいで素晴らしいです。

おにぎり、豚汁、お漬物どれも美味しくおかわりまでさせてくださいました。ごちそうさまでした。

任国でも桜の下を歩きたい

- ①松下倫尚 ②ヨルダン ③環境教育



桜は満開ではなかったけれど、二本松の自然を満喫でき、二本松市民の方とも交流できたので大変有意義なイベントだったと思います。半日近くかけてじっくり歩くことはめ

ったに無いと思うので、良い思い出になりました。任国でも桜の下を歩きたいと思えます。

応援が訓練の肥やしに

- ①豊岡孝章 ②中華人民共和国 ③野球

来所してすぐということもあり、自分達協力隊士ももちろんのこと、地域の方達と関わるいい機会にもなり、充実した半日でした。地域の方達がこんなにも応援してくださっていることは私達の訓練の肥やしにもなりました。ありがとうございます。

仲を深めたウォーク

- ①瀧本哲弘 ②フイリピン ③小学校教諭



残念ながら桜を見ることはできませんでしたが入所して間もない私達にとっては仲を深める良い機会となりました。また、何よりも二本松市民の方達の温かい声かけや二本松市を知る良い機会となりました。どうもありがとうございました。

地元の優しさを感じる

- ①横山真澄 ②モロッコ ③小学校教諭

今まであまり話すことのできなかつた生活班のメンバーや他のボランティアの人達と交流することができ、これからの訓練に希望を持つことができました。また、初めて来た二本松という土地を探検することができ、

地元の人達の優しさや土地に温かさを感じることができました。本当にありがとうございました。

素敵な空、素敵な町並み

- ①加藤マリ ②ケニア ③エイズ対策

緑あつて出会った人と緑あつてやってきた二本松の地を共に歩き共に感じる事ができました。満開の桜は見られなかつたけれど、素敵な空、素敵なフラダンス、素敵な町並み、そして美味しいご褒美、とても良い時間を過ごさせていただきました。これからの私たちの活動を後押ししてくれる温かいパワーを忘れずに全力で頑張りたいと思います。



嬉しく楽しい時間

- ①札幌計江 ②モロッコ ③体育

にほんまつ地球市民の会のみなさま、そして地域のみなさまありがとうございます。初めて私達を温かく迎えて下さり嬉しく楽しい時間でした。のどかで温かい二本松の雰囲気味わえたので参加して良かったです。

任地で花を咲かせたい

- ①清水洋一 ②シリア ③水泳

この度はありがとうございます。昨年は満開で大変すばらしかつたとお聞きし期待に胸をふくらませて参加しました。桜の見頃は残念ながら時期が早かつたようですが生活班の班員のほとんどが参加し結束が強まった気がしました。またこの桜のつぼみのように、しっかりと希望のつぼみをふくらませ、任地で花を咲かせたいと思います。



にほんまつ地球市民の集い

国際協力の達人

羽賀友信氏講演会を開催しました！



2月11日(木・祝)、市民交流センターにおいて、にほんまつ地球市民の会主催による地球市民の集いを開催し、会員や市民など約100名が参加しました。

第1部の講演会では、長岡市国際交流センター長の羽賀友信さんを講師に迎え『世界が見えると日本が見える』と題して、国際交流講演会を開催しました。

講師の羽賀さんは、国際協力の専門家として世界50カ国以上を訪問し人道支援や医療支援にかかわり、その後、長岡市国際交流センター長として現在まで活躍されている方で、長岡市や旧山古志村などが大きな被害を受けた新潟県中越地震や中越沖地震の際には、地域に居住する外国籍被災者ための救援に奔走されるなど、行動力を持って活躍されている方です。

講演会では、数多くの貴重な体験の中から世界各国と日本の様々な違い、そこから見えてくる「世界」と「日本」について、地域での多文化共生などについて、厳しい現実や難しい問題を分かりやすい言葉でお話しいただきました。また、スライドで見せていただいた写真は、訪問した各国でご自身が体験してきた生の写真であるだけに伝わってくるものがありました。国際交流講演会は、地域や世界を考える非常に有意義な講演会となりました。

講演会に引き続き開催された第2部の交流会では、ビンゴやJICA二本松訓練所のスタッフによる国名あてゲームなどが行われ、楽しく交流を深めました。



平成22年度JICA二本松の訓練・行事予定

月 日	内 容
7月 7日(水)～9月 9日(木)	JICAボランティア第2次隊訓練
8月 1日(日)	地球体験キャラバンスペシャル
9月11日(土)～12日(日)	ユース国際協力ミーティング
10月 6日(水)～12月 9日(木)	JICAボランティア第3次隊訓練
12月11日(土)～12日(日)	ふくしまグローバルセミナー2010
H23, 1月 6日(木)～3月11日(金)	JICAボランティア第4次隊訓練

※場所はいずれもJICA二本松

上記行事のうち、JICAボランティア訓練の1日目(7/7、10/6、1/6は、二本松駅で、全国から集まってくるみなさんの出迎えを行います。会員の皆さんも幹事と一緒に出迎えをしませんか？時間は概ね午前11時から午後1時までです。詳しくは事務局までお問い合わせください。



研修コーディネーター
森 明子さん

昨秋、21世紀東アジア青少年大交流計画で来日した中国青年代表団との交流プログラムがあり、にほんまつ地球市民の会では幹事を中心に交流受入れを実施しました。その時の研修コーディネーターの森明子さんから感想文が届きましたので紹介します。

社団法人青年海外協力協会（J O C A）

木

々が色づき始め、日本最大級の菊の祭典である二本松菊人形が開催されてまもない10月中旬、私は再び二本松市を訪れる機会をいただきました。二本松市訪問は4年ぶりでしたが、今回の訪問により二本松市はより一層思い出深い土地となりました。

私は青年海外協力隊日本語教師隊員として2005年11月末より中国へ派遣されましたが、派遣前数ヶ月間を二本松市にあるJICA二本松訓練所で過ごしました。当時訓練期間は暑さの残る9月上旬から冬の到来を感じさせる11月中旬まで。ちょうど、今回訪問した10月は当時の訓練時期とも重なっていたため、久しぶりの二本松市で目にした赤や黄色に色づき始めた紅葉、休日によく通っていた岳温泉の前を通った時には、当時と変わらない情景に大変懐かしさを感じました。

しかし、今回の訪問が私にとり特別なものとなった理由は、上記情景への懐かしさではなく、人々の温かさを感じられたからです。

今回は外務省が実施している「21世紀東アジア青少年大交流計画」のもと、中国青年代表団と共に訪問しました。これは東アジア地域の青少年交流を通じた相互理解の促進、アジアで良好な対感情形

成の促進、アジアの強固な連帯を築き上げることを目的とし、EAS参加国（ASEAN、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランド）を中心に2007年より5年間、毎年6000人程度の青少年を日本に招き交流を行う事業です。平成21年度中国青年代表団第2陣としては、青年指導者、公務員、メディア関係者等各界およそ500名が来日。そのうちの青年指導者福島コース35名と共に、私は青年海外協力協会研修コーディネーターとして訪問しました。

今回は10月14日から21日の来日期間中、東京、福島で様々なプログラムを行いました。中国青年代表団から「有意義な時間だった」「人々の温かさに感動した」等好評だったのが、17日に二本松市でにほんまつ地球市民の会の皆様と過ごしたひとときです。

当日はボウリング、夕食交流会をにほんまつ地球市民の会の企画・運営のもと無事に執り行うことができました。しかし、実を言うと中国側から「日本語ができないのに、どうやって日本人と交流したらいいんだ」という戸惑いもあり、当初は私もお互いの国の言葉に

不自由な参加者同士の交流には不安がありました。しかし、身振り手振りで教えあい、また励まし称えあってプレーしたボウリング。中国側は京劇、日本側は大鼓のお囃子を披露し盛り上がった夕食交流会。これら交流の様子から日中両国が言葉の不自由さを超え、心と心の交流ができたことを強く感じました。特に夕食交流会最後に、両国青年皆で肩を組み、一つの大きな輪を作り歌った「北国の春」は参加者の心に深く刻まれたことと思います。

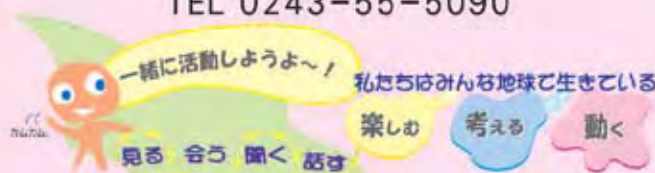
今回このプログラムにご協力くださったにほんまつ地球市民の会の皆様には大変感謝しています。初来日の中国青年代表団、そして私にとって二本松市は菊人形や自然の美しさ、岳温泉の心地よさ以上に、人々が温かい魅力のある土地として記憶に残りました。



会員募集

にほんまつ地球市民の会では、広く市民・団体等より会員を募集しております。会の活動に興味を持たれた方は、事務局まで連絡をお願いします。
年会費：個人 2,000円 団体等 10,000円

事務局：二本松市企画財政課内
TEL 0243-55-5090



にほんまつ地球市民の会 総会のお知らせ

日時 平成22年6月30日（水）午後7時

場所 福祉センター3階会議室（亀谷）

内容・平成22年度事業計画・予算等

・総会終了後にJICA二本松訓練所の齊藤祐巳所長から講話を予定しています